

地

方創生に向けた、各自自治体の政策方針となる『地方版総合戦略』。小林市でも本年度中に「小林市版総合戦略（仮称）」をつくりま

恵が必要で。これまでの会議の手法とは違つ、グループでの対話を通して答えなどを導き出す「ダイアログ」方式を取り入れ、意見や知恵の集約を行います。この会議に参加する委員（人数制限なし）の募集にあわせ、2月に行われた「まわしたち一人一人の「本音」、「思い」や「知

「小林の良いところ、悪いところ」「もつとこうしていききたい」  
8グループに分かれ、市民ら45人が自由に意見交換。

2月10日、真のこばやし創生をめざした意見交換会「まちづくりダイアログ」が、中央公民館で開催されました。市の委員会や

会議に参加する市民45人が参加。8班に分かれて、「小林市の現状と課題」「その対策」「市が目指すべき姿」などについて意見を交換し

故郷を見つめ直す機会に。若い人も参加し夢語ろう。

ました。各班ごとに発表後、最後に全員が輪になり、「市民として小林市のために自分ができること」を言い合いました。出された意見の内容や集計などは、市ホームページで公開しています。

「まちづくりダイアログ」に参加してみて

故郷の良いところや悪いところを再認識する機会になり、さまざまな分野・年齢の人の意見が聞けて勉強になりました。気軽に意見が言い合えたのもよかったです。若い人たちも、まちや未来に対する意見を出せる機会になるはず。夢を語るだけでもいいんです。ぜひ多くの人が参加して、まちの未来を語り合えればいいですね。



(写真) 出し合った意見の分類などを行う参加者ら

小林青年会議所  
さとう ひとし  
佐藤 仁さん



募集

地方創生に向けた「小林市地方創生推進会議」委員

- 会議の役割＝総合戦略の方向性や具体案について審議・検討、総合戦略の効果検証・推進
- 募集人数＝4人程度（応募者多数の場合は、選考のうえ決定します。）
- 任期＝委嘱の日から平成29年3月31日まで
- 会議開催回数＝今年度は年間5回程度開催予定
- 応募条件＝市内在住の人
- 応募方法＝応募用紙に必要事項を記入し、「真のこばやし創生に対する私の考え」をテーマとした作文（任意の書式で200字以上）を添付し、郵送、または直接お持ちください。応募用紙は、本庁1階総合案内所、須木・野尻庁舎、西小林・紙屋出張所にあります。市ホームページからもダウンロードできます。
- 募集締切＝5月22日（金曜）必着

地方創生に向けた「真のこばやし創生をめざす市民会議（仮称）」委員

- 会議内容＝テーマを「産業・仕事」「生活・福祉・教育・子育て」「若者政策」「移住・定住・観光・シティセールス」などに分けて、ワークショップ形式で行います。参加者は興味のあるテーマに参加します。開催回数は各テーマ1～3回程度。開催時期は5月～10月。開催時間は参加者の都合に合わせて柔軟に設定します。会議出席には、市の定める基準により謝礼金を支払います。
- 募集人数＝制限なし
- 任期＝委嘱の日から平成28年3月31日まで
- 応募条件＝30年後も持続可能な小林市を、一緒に考えていただけの人
- 応募方法＝応募用紙を直接または、郵送、ファックス、メールで提出ください。応募用紙は、本庁1階総合案内所、須木・野尻庁舎、西小林・紙屋出張所にあります。市ホームページからもダウンロードできます。
- 募集締切＝5月22日（金曜）必着

申し込み・問い合わせは 企画政策課

TEL 23-0456 ファックス：25-1037 メールアドレス：k\_kikaku@city.kobayashi.lg.jp